



## 松田産業株式会社

2021年3月期 決算説明会

2021年5月27日

## イベント概要

---

[企業名]	松田産業株式会社		
[企業 ID]	7456		
[イベント言語]	JPN		
[イベント種類]	決算説明会		
[イベント名]	2021 年 3 月期 決算説明会		
[決算期]	2020 年度 通期		
[日程]	2021 年 5 月 27 日		
[ページ数]	14		
[時間]	16:00 – 16:24 (合計：24 分、登壇：24 分)		
[開催場所]	インターネット配信		
[会場面積]			
[出席人数]			
[登壇者]	2 名		
	代表取締役社長	松田 芳明 (以下、松田)	
	執行役員 IR 部長	田中 善則 (以下、田中)	

---

### サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com

## 登壇

松田：松田産業株式会社、代表取締役社長の松田でございます。これより、当社第 72 期 2021 年 3 月期の決算説明をさせていただきます。

通常であれば、対面形式によりご説明をさせていただくところではございますが、新型コロナウイルス感染症の拡大が続いている状況から、皆様の健康と安全を考慮し、動画の配信によるご説明とさせていただきます。何とぞ、ご理解とご了承を賜りたいと存じます。

また、当社グループでは、新型コロナウイルス感染症に対し、従業員ならびに関係する全ての皆様の安全を最優先に考え、感染防止に努めながら事業活動を継続しております。

### ○ 連結業績 (2021年3月期)

単位：百万円

	20/3期通期 (前期)	21/3期通期 (当期)	前期比 増減(率)		22/3期通期 (来期予想)	当期比 増減予想(率)	
売上高	210,976	231,559	+20,583	+9.8%	230,000	▲1,559	▲0.7%
営業利益	6,241	8,038	+1,796	+28.8%	8,200	+161	+2.0%
営業利益率	3.0%	3.5%	+0.5%pt	—	3.6%	+0.1%pt	—
経常利益	6,384	8,369	+1,984	+31.1%	8,600	+230	+2.8%
税引前利益	6,266	8,706	+2,439	+38.9%	—	—	—
当期純利益	4,046	6,098	+2,051	+50.7%	6,100	+1	+0.0%

- ・ 2021年3月期の業績は、貴金属関連事業の好調により、前期比増収増益を達成。
- ・ 売上高、当期純利益は、過去最高の実績。

Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

 松田産業株式会社  
MATSUDA SANGYO CO., LTD.

3

それでは、これより 2021 年 3 月期の決算概要につきまして、ご説明いたします。

2021 年 3 月期の連結業績数値の概要でございます。

当連結会計年度の売上高は貴金属関連事業の好調により、前期比 9.8%増加の 2,315 億 5,000 万円となり、売上高としては過去最高の実績となりました。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

 **SCRIPTS**  
Asia's Meetings, Globally

営業利益は前期比 28.8%増加の 80 億 3,000 万円となり、経常利益では、当社が 30%の株式を保有します日鉄マイクロメタルの持分法投資利益などを含み、前期比 31.1%増加の 83 億 6,000 万円となりました。なお、税引前利益には遊休土地の売却による特別利益が含まれております。

これらの結果、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比 50.7%増加の 60 億 9,000 万円となりました。当期純利益は段階的な法人税率の引き下げなどもあり、過去最高になりました。

2021 年 3 月期の連結業績に関する概略は以上のとおりでございます。

ここで、5 月 13 日に公表いたしました業績予想を改めてお伝えいたします。2022 年 3 月期の通期の連結業績の見通しにつきましては、売上高は 2,300 億円、営業利益は 82 億円、経常利益は 86 億円、当期純利益は 61 億円と予想しております。

## セグメント別の業績 (2021年3月期)

### 貴金属関連事業

単位：百万円

	20/3期実績 (前期)			21/3期実績 (当期)			前期比増減	
	上期	下期	累計	上期	下期	累計		
売上高	60,617	70,108	130,726	73,011	80,076	153,087	+22,361	+17.1%
営業利益	2,364	2,569	4,933	3,266	3,567	6,833	+1,899	+38.5%
営業利益率	3.9%	3.7%	3.8%	4.5%	4.5%	4.5%	+0.7pt	-

- ・売上高は、前期比17.1%増収。営業利益は、前期比38.5%増益。
- ・電子部品・デバイス分野の生産活動好調により、貴金属リサイクル取扱量及び金製品等の販売量が増加。
- ・貴金属相場が全体的に上昇。
- ・産業廃棄物の処理は、廃棄物発生量が減少し処理受託量が減少。

※セグメント別売上は外部売上高を使用しております。

Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

 松田産業株式会社  
MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

4

次に、セグメント別の業績をご説明いたします。

初めに貴金属関連事業になります。当事業の売上高は前期比 17.1%増加の 1,530 億 8,000 万円、営業利益は前期比 38.5%増加の 68 億 3,000 万円となりました。

当事業の主力顧客でありますエレクトロニクス業界の電子部品・デバイス分野が新型コロナウイルス感染症の影響から早期に回復し、生産活動が活発化したことなどから、当社グループの貴金属リサイクルの取扱量および金製品などの販売量が増加し、加えて貴金属相場の上昇もありましたので、前期比での大幅な増収増益となりました。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

 **SCRIPTS**  
Asia's Meetings, Globally

なお、産業廃棄物の処理受託では、廃棄物発生量が減少し、当社の取扱数量も減少いたしました。

## ○ セグメント別の業績 (2021年3月期)

### 食品関連事業

単位：百万円

	20/3期実績 (前期)			21/3期実績 (当期)			前期比増減	
	上期	下期	累計	上期	下期	累計		
売上高	41,026	39,223	80,250	38,665	39,806	78,472	▲1,774	▲2.2%
営業利益	847	460	1,307	402	802	1,204	▲103	▲7.9%
営業利益率	2.1%	1.2%	1.6%	1.0%	2.0%	1.5%	▲0.1%pt	—

- ・売上高は、前期比2.2%減収。営業利益は、前期比7.9%減益。
- ・巣ごもり需要により家庭用需要は増加したものの、業務用需要の縮小により全体的に厳しい市場環境。

※セグメント別売上は外部売上高を使用しております。

Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

 松田産業株式会社  
MATSUDA SANGYO CO., LTD.

5

次に、食品関連事業でございます。

当事業の売上高は前期比 2.2%減少の 784 億 7,000 万円となり、営業利益は前期比 7.9%減少の 12 億円となりました。

当事業の主力顧客であります食品製造業界では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、外出自粛に伴う巣ごもり需要によって、冷食、加工食品などの家庭用需要は増加しましたが、一方で、外食産業や土産物販売の低迷により、業務用需要が大幅に減少し、全体としては厳しい状況になりました。

このような市場環境から、当社グループにおきましても、農産品、水産品では販売量は増加しましたが、畜産品では販売量は減少いたしました。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

 **SCRIPTS**  
Asia's Meetings, Globally

## ○ 連結貸借対照表・キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

(連結)	20.3期末	21.3期末	増減	主な増減要因
流動資産	68,398	76,482	+8,083	棚卸資産6,761、売上債権3,965
固定資産	26,110	27,783	+1,672	関工場生産設備および新規設備等
資産合計	94,509	104,265	+9,756	
流動負債	24,168	29,343	+5,175	買掛金1,846、短期借入金1,984
固定負債	9,813	9,315	▲ 498	
うち有利子負債	15,429	17,296	+1,866	
負債合計	33,982	38,659	+4,677	
純資産合計	60,527	65,605	+5,078	
負債純資産合計	94,509	104,265	+9,756	
自己資本比率	63.9%	62.8%	-	

	20.3期	21.3期	増減
営業キャッシュ・フロー	▲ 422	185	+607
投資キャッシュ・フロー	▲ 2,674	▲ 3,181	▲ 507
フリーキャッシュ・フロー	▲ 3,096	▲ 2,996	+100

Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.



6

続いて、連結貸借対照表をご説明いたします。

資産につきましては、売上債権、棚卸資産の増加などにより、流動資産は80億8,000万円の増加となり、固定資産は関工場の前処理設備の新設などにより、16億7,000万円増加したため、総資産では前期末に比べ、97億5,000万円増加し、1,042億6,000万円となりました。

なお、新設いたしました関工場の前処理設備は2020年7月より稼働を開始しております。

負債につきましては、買掛金の増加18億4,000万円と、短期借入金の増加19億8,000万円などにより、流動負債が51億7,000万円増加したため、合計では前期末に比べ、46億7,000万円増加し、386億5,000万円となりました。

純資産につきましては、主に利益剰余金の増加と自己株式の取得による約4億円の減少の差し引きにより、前期末に比べ、50億7,000万円増加し、656億円となっております。

キャッシュ・フローにつきましては、業績および貸借対照表の状況から、ご覧のとおりの結果となりました。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



## ○ 計画の進捗

		2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	2022年3月期 予想	中期経営計画 目標
連 結	売上高	2,109億円	2,315億円	2,300億円	2,200億円
	営業利益	62億円	80億円	82億円	55億円
	営業利益率	3.0%	3.5%	3.6%	2.5%
	自己資本利益率	6.8%	9.7%	—	6.0%

※中期経営計画の目標を1年前倒しですべて達成

Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

松田産業株式会社  
MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

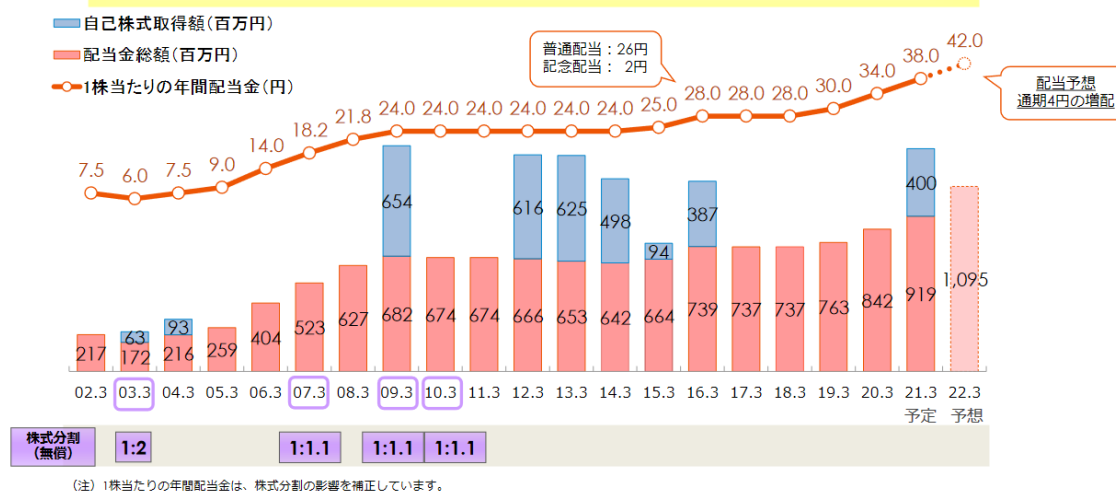
7

2022年3月期を最終年度とする中期経営計画で示しました連結の売上高、営業利益、営業利益率、自己資本利益率に関する数値目標は、1年前倒しで全て達成しております。また、2022年3月期の見通しにおきましても、引き続き達成を予想しております。

## ○ 株主還元

成長投資のための内部留保とのバランスを考慮しつつ、株主様への安定かつ持続的な配当を実施する事により、株主様の期待に応えてまいります。

なお、次期の配当については、通期で4円増配の42円を予想しております。



Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

松田産業株式会社  
MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

8

株主還元について、ご説明いたします。当社は成長性を捉えた事業機会への最適な資源配分、財務健全性の確保、株主還元のバランスを考慮して、持続的な企業価値の向上を目指すことを資本政策

## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS  
Asia's Meetings, Globally

の基本方針としております。その中で、株主還元につきましては、安定かつ持続的な配当を実施することにより、株主様の期待に応えてまいります。

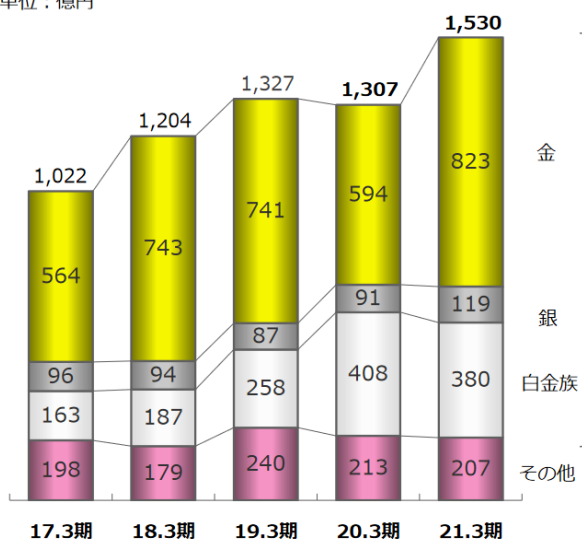
2021年3月期の中間配当金につきましては18円とし、期末につきましては20円の配当を予定しております。これにより、通期では前期に比べ4円の増配予定となります。また、当会計期間において、約4億円の自己株式の取得を実施し、1株当たりの株主価値の向上を図りました。

なお、2022年3月期の配当金は前期比で4円の増配を予想し、中間21円、期末21円、年間合計42円を予想しております。

皆様からの、より一層のご支援をお願い申し上げ、私からのご説明は以上とさせていただきます。引き続き、IR部より決算内容の詳細、設備投資の状況などにつきましてご説明いたします。

## 品目別売上高の推移<貴金属関連事業>

単位：億円



売上高：223億円 増加

前期比増減要因

- 金製品は、数量増加・単価上昇により売上増加。
- 銀製品は、単価上昇により売上増加。
- 白金族製品は、単価上昇したものの売上減少。

製品  
・貴金属地金  
・めっき用化成品等

Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

松田産業株式会社  
MATSUDA SANGYO CO., LTD.

10

田中：IRを担当いたします執行役員の田中でございます。ここからは、決算内容の詳細としまして、セグメント別売上高の内訳、通期の業績予想、ならびに設備投資の状況につきましてご説明いたします。

初めに、セグメントごとの売上の内容についてご説明いたします。

まず、貴金属関連事業になりますが、当事業の売上高は貴金属地金ならびに化成品などの当社が製造しております製品が、全体の約9割を占め、金、銀、白金族の製品に分類されますので、その内容を中心にご説明いたします。

## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

SCRIPTS  
Asia's Meetings, Globally



貴金属関連事業の2021年3月期の売上高は、前期比17.1%増加の1,530億円となりましたが、その内訳をグラフにまとめております。

金製品の売上高は823億円となり、前期比で38%ほど増加いたしました。また、売上高全体の5割以上を占めております。内容は、当社グループの主力顧客である電子部品・デバイス分野の好調と、国内外における積極的な営業活動などにより、貴金属リサイクルの取扱量が増加し、また、当社製品への需要も旺盛となりましたことなどから数量が増加し、加えて金相場の上昇に伴う単価の上昇も重なったものとなります。

なお、貴金属市場における流通や需要規模の大きい宝飾業界は全体的に低迷し、当社におきましても貴金属リサイクルの取扱量は減少いたしました。

銀製品の売上高は119億円となり、前期比で31%ほど増加しました。縮小する感材業界からの貴金属リサイクル取扱量の減少などから、数量はわずかに減少しましたが、相場上昇に伴う単価の上昇が寄与し、売上高は増加いたしました。

次に、白金族製品の売上高になりますが、380億円となり、前期比で7%ほど減少いたしました。これは、主にプラチナの売上高減少によるものであり、電子部品・デバイス分野や触媒市場からの貴金属リサイクルは順調に推移いたしましたが、宝飾業界からの取扱量縮小により、売上高が減少したものであります。

パラジウムやロジウムなどのその他の白金族製品では、数量面ではおおむね横ばいに推移し、単価は相場影響により上昇しております。

その他の売上高にも触れておきますと、産業廃棄物処理受託の減少などにより、売上高はわずかに減少しております。産業廃棄物の処理受託につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響などにより、廃棄物発生量が減少したことによるものでございます。

なお、貴金属関連事業の営業利益につきましては、数量増加などによる売上高の増加に加えて、貴金属相場の上昇を受けた価格影響も含んで売上総利益が増加し、人件費や減価償却費などの増加はありましたが、前期に比べ増益となりました。

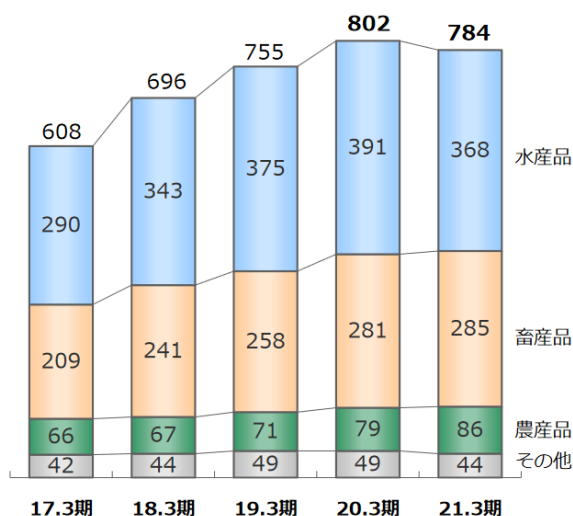
---

## サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com

## 品目別売上高の推移<食品関連事業>

単位：億円



売上高：17億円 減少

### 前期比増減要因

**水産品**  
すりみ  
イカ、エビ等

○水産品は、すりみは、数量減少・単価下落、その他水産品は、数量増加、単価下落。

**畜産品**  
鶏肉、豚肉、牛肉、  
鶏卵 等

○畜産品は、鶏卵は、数量減少・単価下落、畜肉類の数量増加・単価上昇。

**農産品**  
冷凍野菜、乾燥野菜等

○農産品は、数量増加・単価下落。

Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

松田産業株式会社  
MATSUDA SANGYO CO., LTD.

11

次に、食品関連事業の売上高になります。

当事業の売上高は前期比2.2%減少し、784億円となりましたが、その内訳をグラフにまとめておきます。

水産品の売上高は368億円となり、前期比6%ほどの減少となりました。すりみでは、需要の低下に伴い数量は減少し、高価格品から低価格品への需要のシフトもあり、単価も下落いたしました。また、その他水産品も市場環境が厳しい中で、数量は増加いたしました。単価が下落し、売上はほぼ横ばいとなりました。水産品全体では、数量増加を単価の下落が打ち消した内容となっております。

畜産品の売上高は285億円となり、前期比1%ほどの増加となりました。鶏卵では、需要の低下に加えて鳥インフルエンザの影響による生産減退なども重なり、数量は減少いたしました。また、単価も下落しましたので、売上高は減少いたしました。畜肉の数量増加および単価上昇により、畜産品全体での売上高は増加となりました。

次に農産品の売上高でございますが、86億円となり、前期比9%ほどの増加となりました。市場環境が厳しい中で、品質や安定供給力などの強みを生かし、冷凍野菜や乾燥野菜の数量が増加し、単価はわずかに下落しましたが、全体での売上高は増加いたしました。

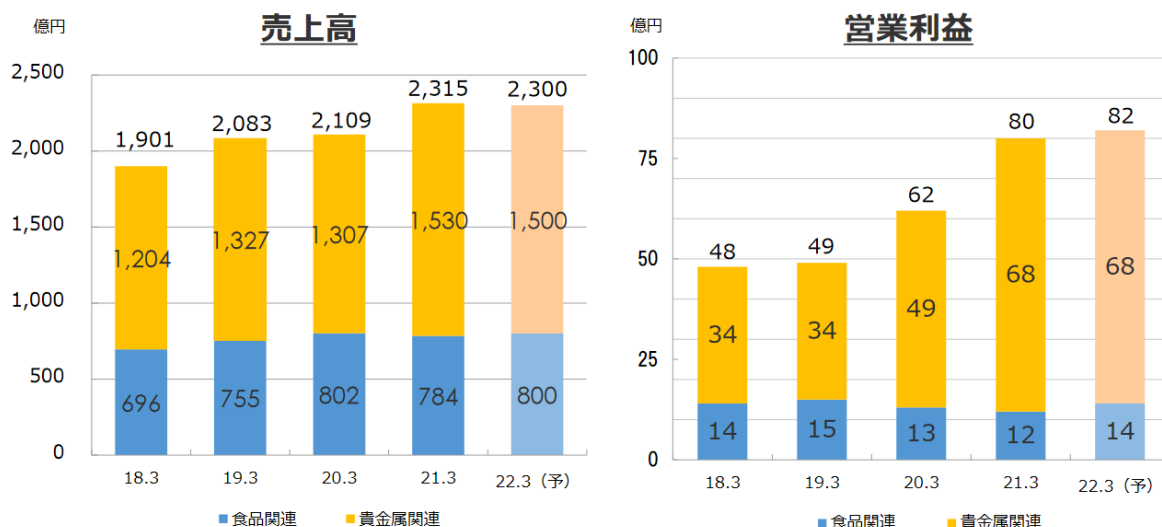
なお、食品関連事業の営業利益につきましては、売上高の減少と需要の低下に伴う利益率の低下などから売上総利益が減少し、前期に比べ減益となりました。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

**SCRIPTS**  
Asia's Meetings, Globally

## ○ 連結決算の業績推移と2022年3月期通期予想



(注) 2022年3月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。

Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

松田産業株式会社  
MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

12

ここで2022年3月期の見通しについてご説明いたします。

貴金属関連事業につきましては、主力顧客であるエレクトロニクス業界の電子部品・デバイス分野などの生産状況は引き続き好調に推移するものと予想し、その中で当社グループでは、高機能電子材料や化成品等の製商品の販売、および貴金属リサイクル原料回収の拡大に向け、顧客ニーズに対応して事業の差別化を進め、業容の維持拡大を図ってまいります。

貴金属関連事業の業績見通しでは、売上高1,500億円、営業利益68億円を予想しておりますが、2021年3月期にごさいました貴金属相場変動による利益影響は見込まず、国内外における新規顧客の獲得、シェアアップによる貴金属リサイクルの取扱量や製商品の販売数量の拡大と産業廃棄物の処理受託取扱量の改善などにより、達成に向け努めてまいります。

食品関連事業につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響から、市場環境は依然として不透明ではありますが、その中で、当社グループでは安全・安心かつ高品質な食品原材料を安定的に供給することによって差別化し、業績の改善を図ってまいります。

食品関連事業の業績見通しでは、売上高800億円、営業利益14億円を予想しておりますが、顧客ニーズに応じた商品ラインナップの拡充に取り組み、海外拠点の活用も含めたグローバル展開を加速し、販売数量の拡大による達成に向け努めてまいります。

なお、2022年3月期の期首より収益認識に関する会計基準の適用を予定しており、そのことから、見通しの売上高は前期比減収の予想となっております。

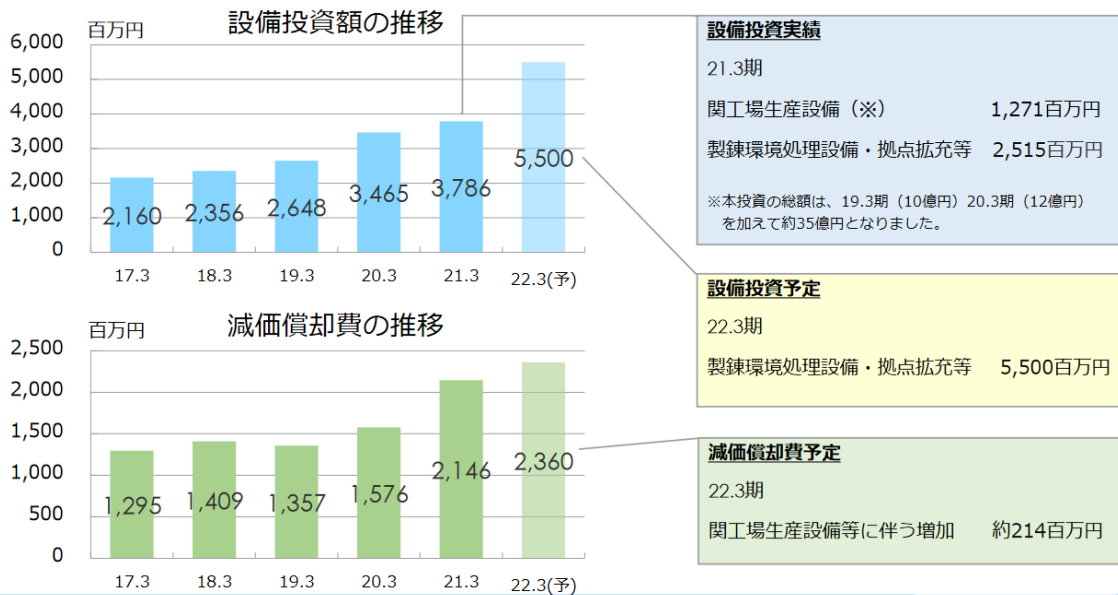
### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

SCRIPTS  
Asia's Meetings, Globally

当会計基準の適用による営業利益などへの影響は限定的かつ軽微なものとなります。

## 設備投資の状況



Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

松田産業株式会社  
MATSUDA SANGYO CO., LTD.

13

次に、設備投資の状況についてご説明いたします。

2021年3月期の設備投資は関工場生産設備や、貴金属関連事業、食品関連事業の合同拠点となります。また、仙台営業所の建築、立ち上げなどの新規設備の導入のほか、既存設備の老朽化更新などを含む約38億円の投資を行いました。

これらの結果、2021年3月期の減価償却費は前期に比べ、5億7,000万円増加の約21億4,000万円となりました。

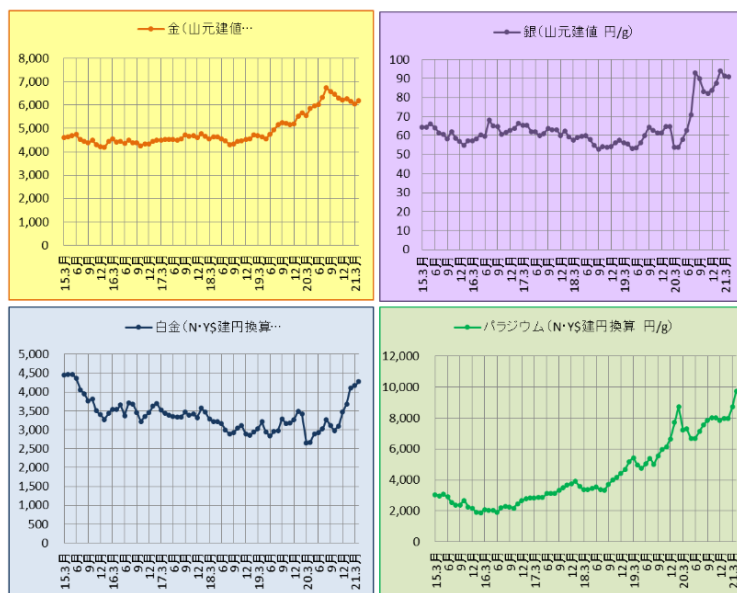
2022年3月期の設備投資につきましては、老朽化更新などを含む製錬環境処理設備や拠点拡充など、合計で約55億円を予定し、2022年3月期の減価償却費は2020年7月より稼働を開始しました関工場の生産設備が通年の償却になることなどもあり、前期比約2億円の増加を見込んでおります。

## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

SCRIPTS  
Asia's Meetings, Globally

## ○ (ご参考) 貴金属相場の推移



2022年3月期  
通期見通しの想定相場

- ・金 6,300円/g
- ・銀 80円/g

Copyright © MATSUDA SANGYO CO.,LTD.

松田産業株式会社  
MATSUDA SANGYO CO., LTD.

14

最後になりますが、ご参考として貴金属相場の推移を載せておりますので、ご覧いただければと存じます

以上、決算概要などをご説明させていただきました。今後ともご支援ご鞭撻のほどお願い申し上げます。2021年3月期の決算説明を終わらせていただきます。

ご視聴いただきありがとうございました。

[了]

### 脚注

1. 音声不明瞭な箇所については[音声不明瞭]と記載

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

SCRIPTS  
Asia's Meetings, Globally

## 免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行うものではありません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

---

## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

